

渡辺大三NEWS

【2009年1月 第2・3週号】

発行 こがねい情報公開市民会議 会派「みどりの風」

連絡先 〒184-0015 小金井市貫井北町1-12-1-502

電話 090(3345)6929 (お気軽にご連絡ください/留守電付)

Email daizou52@musashikoganei.gc-broad.net



駅前ホール問題をコストから考える

日野市のホール計画と比較してみると・・・

新たな1年が始まりました。今年も頑張りますので、よろしくご指導願います。

稲葉市長は、武蔵小金井駅南口再開発（第1地区）に都市再生機構が建築する「市民交流センター（通称「駅前ホール」）を、66億1000万円の巨費を投じて購入する計画です。

私は、長年にわたって「再開発事業は必要だが、駅前ロータリーの真正面にホールを建てると、土地が大変高くつく。立地を見直して建設すべきだ」と提案してきました。

本日は、駅前再開発ビルをホールにするとどのような無駄が出るのかを数字を挙げて分析してみたいと思います。分析手法として、小金井市のホール計画と、日野市のホール計画を比較してみました。皆さんがこの問題を考える上で参考になれば幸いです。まずは右表をご覧ください。

いかがでしょうか？ 小金井市の場合、投資額の大きさに比べて、得られる施設が極めて貧弱であることが分かります。

土地代が高くなる理由は、駅前ロータリーの真正面という立地と関係しています。御存知ない方が多いのですが、ホールの建設地は、再開発地区内で最も地価が高い位置にあるのです。イトーヨーカドーや25階建てマンションの敷地よりも地価が高いのですから驚きです。

建設費が高くなる理由は、再開発ビルだからです。日野市のように自己所有地に自分で建てれば安価に済みますが、都市再生機構に建ててもらうので、諸経費の請求が大きく、べらぼうに高くなるのです。

土地代も建設代も高くなるので、結局、敷地は狭く、床面積も狭くなり、その影響が施設内容に及んでいます。交流ホールなどはわずか214㎡しかありません。日野市の3分の1です。

現時点では、市議会は「財産取得の議決」をしていませんし、市も「売買契約」を締結していません。したがって計画を見直すことは可能です。しかし、議決・契約が行なわれたら後戻りはできません。

小金井市は、再開発地区内に26億円の資産を持って

小金井市と日野市のホール計画比較

比較項目	小金井市	日野市
位置	武蔵小金井駅南口の駅前ロータリーの真正面	日野駅から道のりで800mの地点
大ホール座席数	578席 (固定式/使用目的は限定的)	900席 (可動式/多目的に使用可)
大ホール面積	624㎡	2381㎡
交流ホール面積	214㎡	680㎡
コミュニティルーム(鏡付き)	なし	2室(184㎡+197㎡)
集会研修室	3~4室 (139㎡)	3分割可 (127㎡)
ギャラリー	130㎡	82㎡
和室	12畳	なし
幼児室	なし	37㎡
食堂・喫茶	喫茶 (48㎡)	喫茶・食堂 (250㎡)
防災備蓄倉庫	なし	80㎡
ロビー他	246㎡	1270㎡
駐車場	65台分(その内39台分は別途費用)	120台
駐輪場	150台(超過した場合は駅前にあふれる)	100台(公園内の施設なので路上にあふれない)
建設方式	再開発ビルの土地と床を都市再生機構から購入	市有地に市が入札・発注して建設
土地価格	27億4000万円 (1㎡104万円)	事業費としては0円(市立公園用地に建設)
建物価格	37億7000万円 (備品費数億円除く)	28億円 (備品費含む)

います。したがって、駅前から蛇の目ミシン跡地（東西でも南北でも市域の中心）に建設場所を変更すれば、26億円は補償金として受け取ることができ、それを原資にすれば、追加負担が2～3億円程度で、日野市と同程度の充実した規模のホールを建てることができます。

私は、財政難の小金井市が、駅前ロータリーの真正面にホールを建てるために、大きな借金をするのは良くないと思います。しかし、稲葉市長とその与党は「自分の金」ではなく「他人の金」で払うので、湯水のごとき無駄遣い路線を変えようとしません。

議会は「無駄遣い派」が多数を占めていますので、市民世論で包囲するしかないと思います。

それにしても、他の市や町に燃やすごみの全量を押しかけておいて、自らは駅前ロータリーの真正面に無駄遣いのホール建設・・・こんな野蛮な話はありません。そんな余裕があるなら、ごみ減量施策や近い将来の新ごみ処理施設建設に財源を回すべきです。

参考までに申し上げますと、小金井市がごみを持ち込んでいる日野市は、大不況という事態を受けて、ホール建設計画の「凍結」を表明しています。

賢明な市政は社会経済情勢に敏感に反応します。しかし、そうでない市政は、無駄遣いであろうが何であろうが、強行し、市民に「しわ寄せ」を押し付けるのです。

現在、市議会には、市民団体が提出した「駅前ホールの是非を問う住民投票を求める陳情書」が2件提出されています。私は、陳情書に賛成の立場で臨みます。

ごみ処理施設建設基金の創設

自民・公明・改革が反対するも、多数で採択

12月18日の市議会本会議で、私ども「こがねい情報公開市民会議」が提出した「(仮称)ごみ処理施設建設基金の設置を求める陳情書」が採決に付されました。

ごみ処理施設の建設には、地域還元施設も含めて莫大な資金を必要としますので、将来の財政負担に備えて「基金」(貯金)を設置すべきだとの内容です。

参考までに申し上げますと、稲葉市長は、将来のごみ処理施設建設に要する費用を含んだ財政フレームを示せないでいます。市民生活に不可欠なごみ処理の財政計画もないまま、駅前一等地にホールだの市庁舎だのを建設するというのですから、無責任極まりありません。

私の調べた範囲では、多摩26市で、こんな市政を行っている自治体は一つもありません。

陳情書に賛成したのは、みどりの風(渡辺・青木・野見山・漢人・小山) 共産党(森戸・板倉・関根・水上) 市議会民主党(小川・宮崎) 民主党市民会議(齊藤)の合計12名。

陳情書に反対したのは、自民クラブ(中根・伊藤・露口・高木・遠藤) 公明党(鈴木・和田・紀・宮下) 改革連合(五十嵐)の合計10名。

退席は、市議会民主党(村山)の1名。篠原議長(改革連合)は採決に加わらず。

したがって、陳情書は2票差で採択され、稲葉市長に送付されることになりました。

市長与党は、駅前の無駄なハコモノ建設には熱心なようですが、11万市民の毎日の生活から出るごみの処理には不熱心なようです。困ったものです。

インターネットで「市政速報」発信中！
「e小金井市議会」で毎日市政速報を発信しています。
<http://www.koganei.com/e-gikai/>

◎ご案内「市政を変える市民のつどい」◎

3月21日(土)19時～20時30分、市民会館・萌え木ホールにて、こがねい情報公開市民会議主催の「市政を変える市民のつどい」を開催いたします。渡辺大三君から資料に基づいて市政の諸問題をご報告申し上げ、参加者の皆さんからもご意見を頂戴したいと思います。お誘い合わせの上、ぜひご参加願います。

◎市内在住のお知り合いをご紹介願います◎

「渡辺大三NEWS」を一人でも多くの方々にお読みいただきたいと思っております。市内在住のご家族・ご友人・お知り合いをご紹介いただければ幸いです。

1面記載の連絡先まで、ご紹介先をお送りいただければ、貴方様からのご紹介であることを書き添えて「NEWS」をお届けいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎資金カンパのお願い◎

こがねい情報公開市民会議では、一人でも多くの皆様に市政の実情や渡辺大三の政策を知っていただきたいとの趣旨で、ポスターやチラシを作成しています。ご都合が宜しければ、資金カンパにご協力いただければ幸いです。ご協力いただけます場合は、下記の郵便振替口座までお願い申し上げます(用紙は郵便局にごぞいます)。

口座番号 00140-2-595639

口座名 こがねい情報公開市民会議

渡辺大三のプロフィール

■1966(昭和41)年 岩手県水沢市(現:奥州市)に生まれる。秋田県横手市、宮城県仙台市(東北福祉大学附属幼稚園)、山形県山形市(山形市立第10小学校)を経て、父の転勤で小金井市貫井北町に転入。

■小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校・東京都立小金井北高等学校・中央大学法学部を卒業。

■株式会社河北新報社(宮城県仙台市)に記者職で入社、編集局配属、紙面編集に携わる。その後、小金井に戻り、地元代議士の秘書となる。政治活動のかたわら、小金井市内で毎月、古紙リサイクル運動を行なう。

■1993(平成5)年、小金井市議会議員選挙に初当選。以降4期連続当選。議会運営委員長・予算特別委員長・行財政改革調査特別委員長・農業委員・二枚橋衛生組合議会議員などを務める。前回選挙から無党派無所属の立場で活動。議会では、超党派の会派「みどりの風」に所属。現職議員では二番目に若く、「行動する市民派議員」として、行政の「無駄遣い一掃」をめざして奮闘中。

■身長179cm 体重80kg 血液型=O型 星座=おうし座 好物=とんかつ・坦坦麺・生牡蠣・泡盛など